

令和3年
第4回多摩市議会
定例会

委員会提出議案

多摩市議会

委員会提出議案第5号

デフリンピックの東京招致を求める意見書

上記の議案を地方自治法第109条第6項及び会議規則第13条第2項の規定により別紙のとおり提出する。

令和3年12月21日

提出者	多摩市議会子ども教育常任委員長	三階 道雄
賛成者	多摩市議会子ども教育常任委員	安齊 きみ子
同	同	岸田 めぐみ
同	同	斎藤 せいや
同	同	大野 まさき
同	同	遠藤 ちひろ

多摩市議会議長 藤原 マサノリ 殿

デフリンピックの東京招致を求める意見書

聴覚障がいのある選手にとってデフリンピックは最大の国際大会である。その次期大会を「東京で！」という招致に向けての取り組みが始まっている。

開催予定である2025年は、第1回夏季大会から100周年の記念すべき年であり、その記念すべき年に東京でデフリンピックを開催することは、国内外に開催都市の姿勢をアピールするまたとない機会となる。

デフリンピックはパラリンピックを超える歴史を持つ規模の聴覚障がいのイベントであり、障がい者及び手話への理解と社会参加が一段と進むだけでなく、障がい者スポーツの推進、情報アクセシビリティの充実による東京の共生社会の構築に寄与することが期待される。

よって、多摩市議会は、2025年のデフリンピックを東京で開催することを強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 年 月 日

多摩市議会議長 藤原 マサノリ

東京都知事 殿